

2019年 視察(会議)報告書

自由クラブ
島崎 圭介

11月21日（木） 12時～17時 ホテル・アゴーラリージェンシーハウス大阪堺

WBSC(world baseball softball confederation) 及び 野球自治体サミット

【視察項目】

この総会は、2年に1度開催され、WBSCにとって最高意思決定機関である。世界135か国の野球、ソフトボール関係者が一堂に会する機会となり、ICCA（国際会議協会）基準に該当する世界でも認められた価値ある会議である。また、2019年は野球、ソフトボールがオリンピック競技に復帰する東京オリンピックの前年となり、注目度が高くなることが期待されている。

開催地の堺市は、百舌鳥古市古墳群の世界文化遺産登録の実現を控えるなど、歴史・文化面において注目を集めていることはもちろん、スポーツも非常に盛んな街であり、当総会開催を通して世界の方にスポーツ、文化、歴史など多方面で、認知いただけた機会にすると共に、野球界の発展、野球の普及に貢献できるよう取り組んでいる。

会議への参加は、東京オリンピックに向けた競技運営関係、野球・ソフトボールの振興・発展に向けた取組等を協議する中で、情報収集をするものである。

なお会議は野球・ソフトボールの国際組織である世界野球ソフトボール連盟(WBSC)が主催し、WBSCはプレミア12など の国際大会をはじめ、世界的な野球・ソフトボールの普及・振興活動を実施している。

今回の WBSC 総会開催を契機として、今後より一層日本から野球・ソフトボールの普及・振興、さらにはレガシーの創出につなげていくものである。

【視察会議参加内容】

本市(北広島市)としては、2023年開業予定の北海道日本ハムファイターズ・ボールパークが、北海道はもとより日本やアジアからの多数の来市来場を想定し、いま世界の野球では何が求められ、どのようなハード&ソフト面において、必要なものは何かを知る上で非常に価値の高い会議である。

参加させて頂いた事に大変感慨深いものであるとともに、「世界スタンダード」のものを体験するに貴重な機会であった。

会議と同時に開催された「野球自治体サミット」にも出席することができ、いま日本の野球先進地での自治体では、どのような取り組みを推進しているのか、また将来展望はいかにあるのかを、自治体の長自らプレゼンテーションを行われた。

会議から感じ、まちづくりに創出できるのか、大いにヒントを頂いたとともに、人脈形成に大変有意義な会議参加であった。

本会議の主催は「公益財団法人 大阪観光局」であり、溝畠宏理事長の音頭の元、プレゼンテーションは、永藤英機氏・堺市長、中村時広・愛媛県知事、内堀雅雄・福島県知事が務められ、意見交換では佐々木恭一・SSK 代表取締役社長、福本豊・スペシャルアドバイザー(元阪急ブレーブス)からも、今後の日本における野球のあり方や、推進方策らについて意見が述べられた。

本会議後に推進発足予定の「(仮称)野球観光連絡協議会」についても議論され、北海道ボールパーク建設地である北広島市もこの協議会への参加の打診を頂くなど、当市において今後のボールパークを軸とした交流人口の増加、定住人口の増加や雇用の創出、観光推進について大きなコンテンツとなるよう期待できるものである。

今後も、同協議会との積極的な参加や連携をするにあたり、野球経験が長い私として市のまちづくりの一端になれるよう、今後も積極的に情報交換を継続するものもある。

【視察写真は枚数も多いことから本文と関係のある写真のみ添付する】

【参考写真】





文責 島崎圭介